

和し 鍛え 学ぶ

末野原中学校は昭和60年に開校し、今年で40周年を迎えました。節目の年にあたり、本日、創立40年記念式典を開催しました。式典の様子を紹介します。

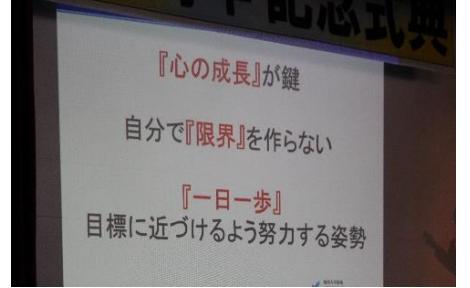
末野原中学校 創立40周年記念式典

初めにご来賓を代表して、豊田市議会議員 兵藤慎也様よりお言葉を頂戴しました。兵藤様は本校の第1回卒業生でもあり、ご自身の中学校生活を振り返りながら、後輩である末中生たちに温かいメッセージを贈ってくださいました。

続いて「末野原中学校40年の歩み」と題して、昭和60年の開校当時から現在までの歴史を写真で振り返りました。生徒たちは知らないことばかりだったと思います。現在の末野原中学校につながる数々の出来事に関する話を、身を乗り出して聞く生徒たちの姿が印象的でした。

そして、記念講演では、本校の11回生であり、アテネオリンピック、北京オリンピックと2度オリンピックをはじめとして、国内外の数多くの大会でハードル競技の第一人者として活躍され、輝かしい記録を残された内藤真人様を講師にお迎えし、「夢への挑戦」と題してご講演いただきました。内藤様は、大林小学校時代にサッカーや野球に励んだものの、なかなか芽が出ず、中学校で陸上部に入ったものの泣きながら練習をしていたこと、高校と大学では日本一になることを目指して努力したこと、ミズノに入社し世界を目指して努力したことなどを話してくださいました。「自分が大切にしているのは『一日一歩』という言葉です。スポーツでもなんでも、毎日とにかく努力を続けることを大切にしてください」と話されました。生徒たちは、今の自分自身と重ねながら内藤様の言葉を受けとめていたのではないでしょうか。本校の生徒たちの大先輩である内藤様から、生徒たちの心に染み入る温かなエールをたくさんいただきました。

そして、今回の40周年式典の開催にあたって多大なるご尽力をいただいた同窓会長の石川様からは、「中学校の頃の自分は迷いが多く、うまくいかないこともあったけれど、今は祖父の代から続くお茶畠を受け継いで、お茶のすばらしさを世界各国に出向いて発信している」「いつでも頑張ることはできる」という力強いエールを生徒たちにいただきました。また、石川様からは、丹精込めて育てたお茶からできた抹茶のパウダーを



全校生徒にプレゼントしていただき、生徒たちは歓声をあげて喜んでいました。（私も、温めた牛乳に混ぜて抹茶ラテにしていただきました。大変おいしかったです！石川様、そして本校の40周年のために特別にラベルをデザインしてくださった石川様の奥様、ありがとうございました！）



今回、日ごろから温かく応援してくださる地域のご来賓の皆様をお招きし、在校生の偉大なる目標である内藤様に東京からお越しいただいてお話を伺うことができ、末野原中学校がつないでくれる「縁」の確かさ、温かさを、改めて感じることができました。

末野原中学校が、これからも歴史と伝統を受け継ぎながら、地域に根差した学校として確かに歩みを重ねていけるよう、在校生一同、職員一同、頑張ってまいります。保護者の皆様、地域の皆様、今後とも本校を温かく応援してくださいますよう、よろしくお願ひいたします。



【生徒の声】

- ・内藤選手の「一日一歩」という言葉が印象に残りました。将来の夢をもって、その夢をかなえるために努力し続けることはすごいことだと思いました。やりたいことに限界をつくらず、挑戦し続けることの大切さがよくわかりました。私もうまくいかなくともあきらめずに少しずつでも努力できる人になりたいと思いました。本日はありがとうございました。（42回生）
- ・今回の式典で僕は末野原中学校の歴史について知ることができました。体育祭や自然教室、ソーランなどは先輩たちの時代からずっと続いていることがすごいなと思いました。末中に内藤さんのようなすごい先輩がいると知ってとても誇らしく感じます。本当に尊敬しています。（41回生）
- ・日本で何度も優勝してオリンピックに2度も出場している内藤様のお話は、とても有意義で勇気づけられた生徒も多いと思います。本当にありがとうございました。（40回生）